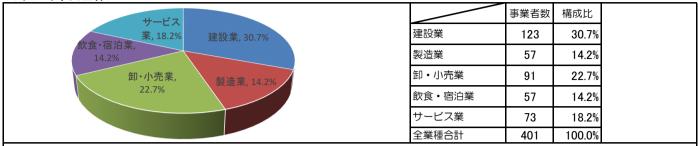
# 十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書(R3.4.1~R3.6.30) 松之山地区

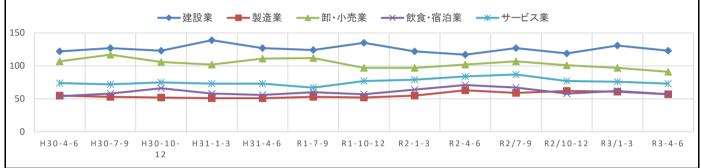
小規模事業者以外含む全事業所

### ◇ 調査対象事業所構成割合

## <十日町市内全体>



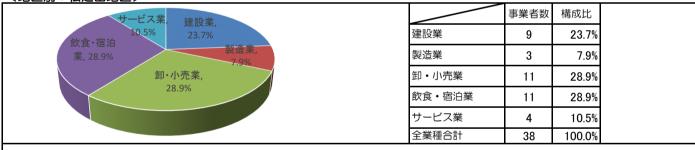
# 業種別調査事業所数の推移(市内全体)



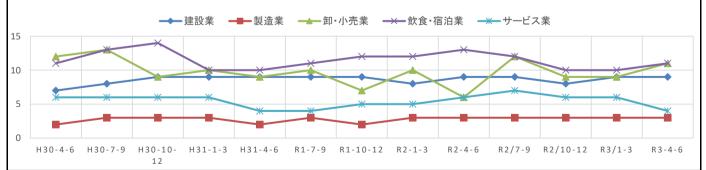
# <コメント>

今回の調査は、十日町市内401事業所から回答を得られ、前回調査よりも26事業者減少している。建設業と製造業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

## <地区別:松之山地区>



# 業種別調査事業所数の推移(地区)



### <コメント>

松之山地区の今期の調査回答状況は、配布64事業所の内38事業所から回答があり、回収率は59.4%であった。

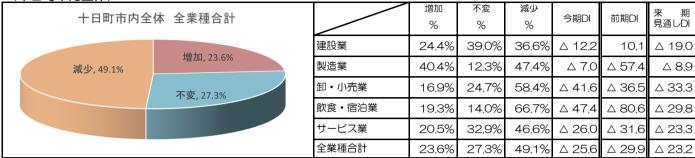
前回調査時よりも1事業所増加しており、業種構成割合も大きな変動は無いものとなっている。

## D I 値 (景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

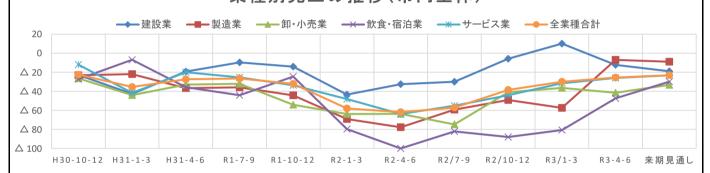
### 1. 売上について

・4月~6月の売上は前年の同期に比べてどうですか?

## <十日町市内全体>

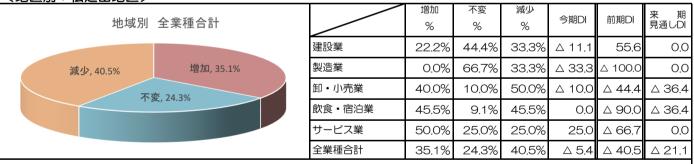


# 業種別売上の推移(市内全体)

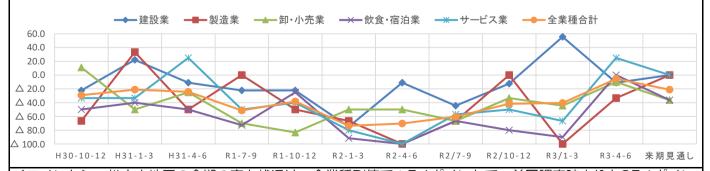


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△25.6ポイントで、前回調査時よりも4.3ポイント上昇となっている。建設業と卸・小売業以外の業種にて上昇しており、全体の値を引き上げている。来期見通しでは建設業と製造業は低下予測であるが、その他の業種では上昇予測となり、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

## <地区別:松之山地区>



# 業種別売上の推移(地区別)

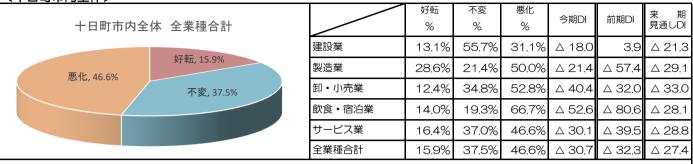


<コメント> 松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△5.4ポイントで、前回調査時よりも35.1ポイント増加している。建設業にて大幅な減少が見られたが、その他の業種が増加しており、全体の数値を引き上げている。来期見通しは建設業と製造業にて増加予測があるものの、その他の業種で減少予測が出ており、全業種では今期よりも減少するものと思われる。

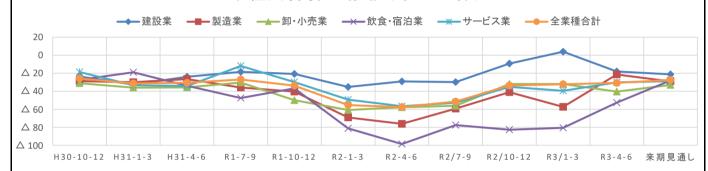
### 2. 採算について

・4月~6月の採算は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>

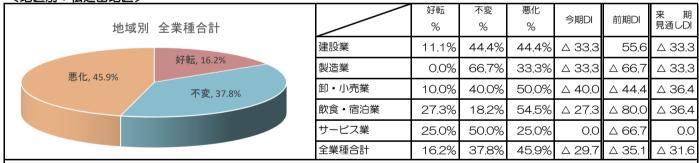


# 業種別採算の推移(市内全体)

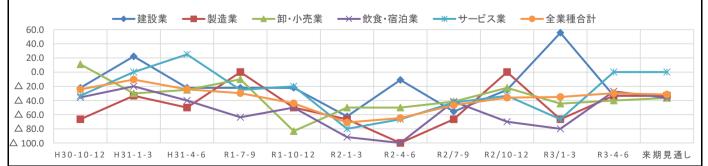


<コメント> 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△30.7ポイントで、前回調査より1.6ポイント好転している。建設業と卸・小売業の悪化が大きいが、その他の業種で好転していたことが要因となる。来期見通しでは、建設業と製造業にて悪化予測されているが、その他の業種では好転予測であり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

## <地区別:松之山地区>



# 業種別採算の推移(地区別)

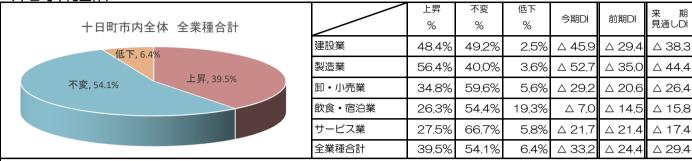


⟨コメント⟩ 松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△29.7ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント好転となっている。売上状況と同様に、建設業にて大幅な悪化があったものの、その他の業種での好転がありこのような結果となっている。来期見通しでは、全ての業種で大きな変動は無いものと予測されており、全業種DIにおいて多少の悪化予測となっている。

## 3. 仕入単価について

・4月~6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか?

### く十日町市内全体>

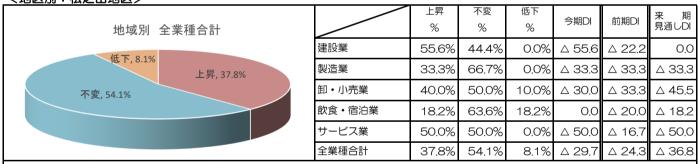


# 業種別仕入単価の推移(市内全体)



<コメント> 十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△33.2ポイントで、前回調査時よりも8.8ポイント低下している。飲食宿泊業以外の業種において低下しているが、全業種合計において不変回答が半数以上を占めていることから大きな変動はないものと推測したい。来期見通しとしては、今期よりも全業種DI値が上昇する見通しとなっている。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別仕入単価の推移(地区別)

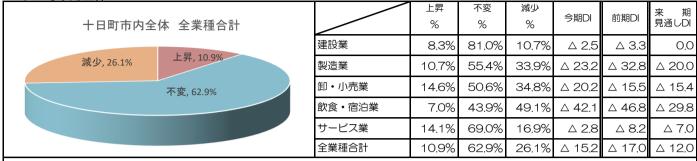


<コメント> 松之山地域の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△29.7ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント低下している。卸・小売業と飲食・宿泊業にて前期よりも上昇が見られたが、その他の業種での低下率の方が高く、全体数値を下げている。来期見通しでは、建設業にて大幅な上昇予測があり、ウッドショック並び燃料価格の上昇が影響しているものと推測できる。その他の業種では今期並みの水準になると思われる。

## 4. 販売(客)単価について

・4月~6月の販売(客)単価は前年の同期に比べてどうですか?

### く十日町市内全体>

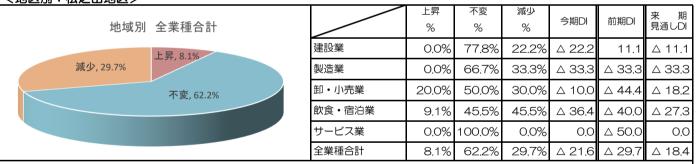


# 業種別販売(客)単価の推移(市内全体)



<コメント> 十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時より1.8ポイント上昇している。卸・小売業において低下が見られるものの、その他の業種においては上昇している。来期に関しては、サービス業が低下予測であるが、その他の業種は上昇予測であり、全業種DI値も好転する見通しとなっている。

# <地区別:松之山地区>



# 業種別販売(客)単価の推移(地区別)

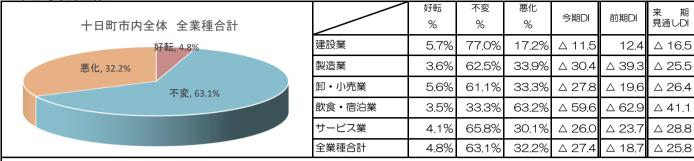


<コメント> 松之山地域の今期の販売(客)単価状況は、全業種DI値で△21.6ポイントで、前回調査時よりも8.1ポイント増加となっている。建設業で減少があったものの、建設業以外の業種で増加があり、全体値を上げている。来期見通しでは卸・小売業にて若干の減少予測があるものの、大きな変動予測をしている業種は無く、今期と同水準になるものと思われる。

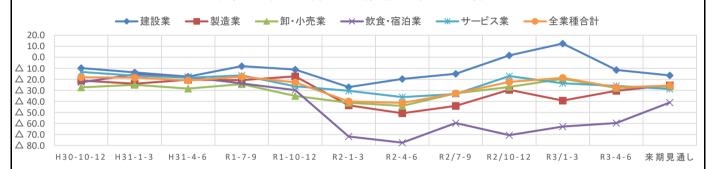
# 5. 資金繰りについて

・4月~6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか?

## <十日町市内全体>

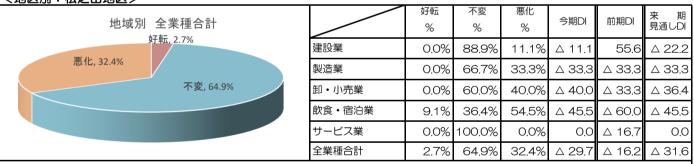


# 業種別資金繰りの推移(市内全体)

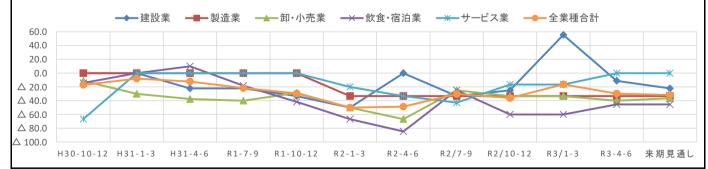


<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△27.4ポイントで、前回調査時より8.7ポイント悪化している。建設業と卸・小売業、サービス業が悪化しているが、その他の業種では好転している。来期見通しとしては、建設業とサービス業で悪化予測となるが、その他の業種では好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しとなる。

# <地区別:松之山地区>



# 業種別資金繰りの推移(地区別)

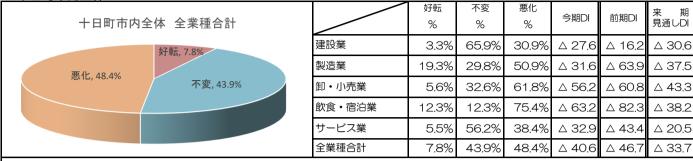


〈コメント〉 松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△29.7ポイントで、前回調査時よりも13.5ポイント悪化となっている。建設業にて大きな悪化が示されており、売上の減少と比例しているものと思われる。その他の業種では大きな変動は見られなかった。来期見通しでは、全ての業種において今期とあまり変わらず、同水準となるような予測となっている。

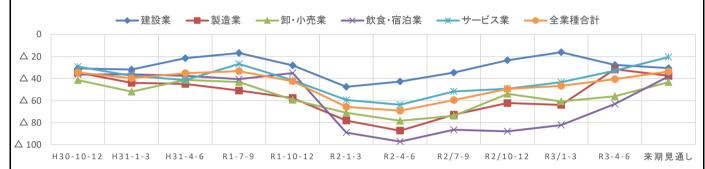
## 6. 景況判断について

・4月~6月の景況は前年の同期に比べてどうですか?

## <十日町市内全体>

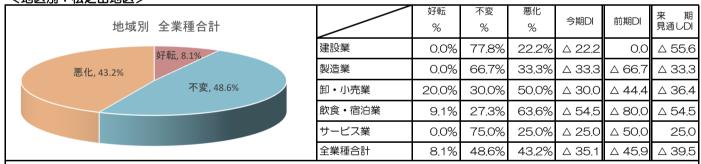


# 業種別景況判断の推移(市内全体)

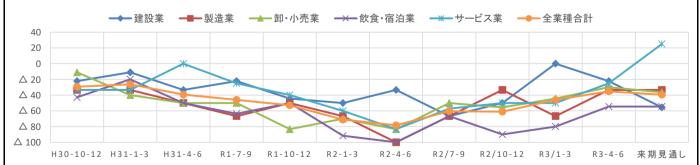


<コメント> 十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△40.6ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント好転している。ウッドショックの影響により建設業の数値悪化があると推測するが、その他の業種は好転を示している。来期見通しは、建設業と製造業が悪化予測となるが、その他の業種は好転予測であり、全業種DI値についても好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

### <地区別:松之山地区>



# 業種別景況判断の推移(地区別)

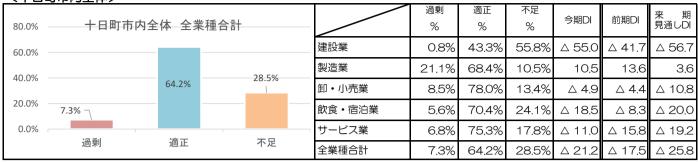


<コメント> 松之山地区の今期の景況判断は、全業種DI値で△35.1ポイントで、前回調査時よりも10.8ポイント好転している。建設業にて悪化が示されているが、その他の業種は好転となっている。来期見通しでは、サービス業にて好転予測されているものの、建設業にて悪化予測があり、全業種で見た場合は今期と大きな変動は無いものと思われる。

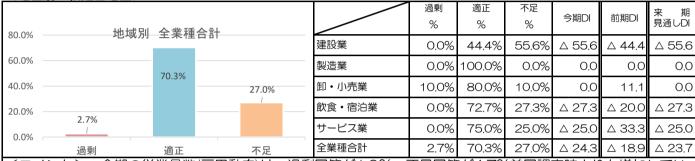
### 7. 従業員数について

・4月~6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか?

### <十日町市内全体>



## <地区別:松之山地区>

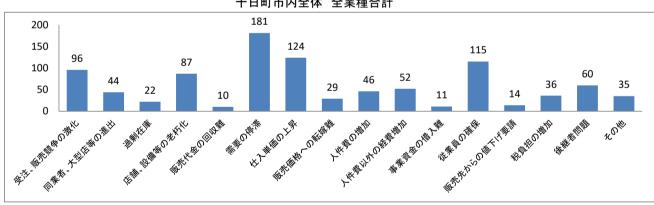


今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.0%、不足回答が4.7%前回調査時よりも増加してい くコメント> る。

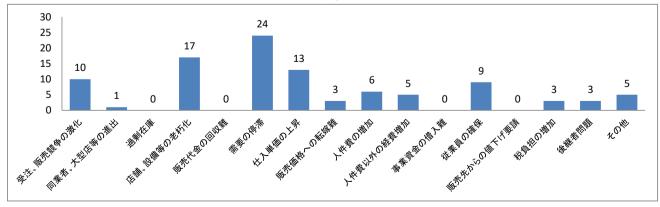
松之山地区の状況は、前回調査時よりも不足回答割合が5.4%増加しており、業種を問わず人材不足傾向となっ ている。飲食・宿泊業とサービス業では市内全体の割合よりも不足割合が高く出ている。

### 8. 経営上の問題点(上位3つ):4月~6月

### 十日町市内全体 全業種合計



### 地域別 全業種合計



今回調査での経営上の問題点は、1位の「需要の停滞」は変わらなかったが、2位から5位の項 目は、「仕入単価の上昇」が急激に増え2位となり、その他の項目は前回調査時から順位を1つ下げた。 松之山地域の経営上の問題は、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」は前回と同順位であったが、 3位は「仕入価格の上昇」となっており、前回調査時から増加傾向にある項目であることから、今後の動向に注 視したいところである。

#### 9. 地区の景況概要

・4月~6月時点での全体概況は

# 【建設業】

今期の建設業の状況は、前期が除雪関係の受注増となる時期であったため、全ての項目で前期に比べ大きな減少(悪化)結果となっている。仕入単価の上昇も加わり、経営状況は厳しいものと思われる。また、来期見通しにおいても受注増は見込めないものと予測されており、今期と同様の水準が続くものと思われる。経営上の問題では、従業員の確保が一番多く上げられており、人材不足が続いている業種である。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、前期が売上、採算状況で大きく落ち込んでいたことから、今期は売上、採算状況にて回復してきている。仕入単価状況、販売単価状況は、変動がないまま推移している。来期見通しにおいても全ての項目で今期と同水準で予測されており、大きな変動が無いものと思われる。

## 【卸·小売業】

今期の卸・小売業の状況は、前期よりも売上、採算、販売(客)単価にて上昇が見られ、景況判断も好転している結果となっている。来期見通しにおいては、売上減少予測があるものの、仕入単価の低下予測もあり、今期と同水準で推移するものと思われる。経営上の問題では、需要の停滞と店舗、設備の老朽化が同数で1位となっており、長引く売上低迷により設備投資に踏み切れないものと推測できる。

#### 【飲食·宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、売上の上昇幅が大きく出ており、景況判断も上昇している。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年から良い結果が出ていない業種でもあり、ワクチン接種が進んでいることによることも要因の一つと考えられる。ただし、昨今の全国における感染者の増加(第5波)による「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令地域も増加傾向にあり、今後の動向に注視したい。

## 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上の増加、仕入単価の減少、販売(客)単価の上昇により、資金繰りや景況判断において好転した結果となっている。来期見通しにおいては売上減少予測があるものの、その他の項目では今期と同水準の予測があり、大きな変動は無いものと思われる。経営上の問題では「需要の停滞」のほか、「人件費の増加」「税負担の増加」などが多く上げられている。